
俺の日常

雲雀有希

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺の日常

【Nコード】

N9105I

【作者名】

雲雀有希

【あらすじ】

ネロ・アッロドラ。

それが俺の名前。ハーフの中学一年生。

そんな俺の日常・・・

俺の名前は、ネロ。

俺の名前は、ネロ・アッロドラ。今、中学一年生。

パパはイタリア人、ママは日本人で俺はハーフ。

パパは仕事でアメリカに居て、私は、ママの仕事について回っている。

だから転校が多い・・・でも、ママにも仕事があるからしょうがない・・・

だけど、今回は「ネロ、聞いてね。今回はネロが中学校を卒業するまで居るから、

三年だけど、時間を大切にしてくね。」と、言ってくれた。

今、俺は「桜風中学校」の廊下を先生と歩いている。

先生は「こんなに、カッコイイ子が来たら、女子はメロメロね?」と、言った。

俺は、苦笑した。

俺は今、これから始まる扉を開けた。

俺の名前は、ネロ。(後書き)

有希です。

リクエストで、ネロ・アツロードラになりました。
妹ができるかも・・・(ほんとかよ・・・)

学校、友達

ざわっざわ・・・

「ねえ、聞いた？」 「何々」 「転校生、来るんだって」

「うそー ねえ、男の子？女の子？」 「イケメンだって」

「えー、今どきありえないよ」

「ねえ、それ、ほんと？」 「わっ、メガネ女。」 「えっ、ほんとだ」

「ねえ、今のほんと？質問に答えてくれない？」 「メガネに話す事は、ないよ。向こう行こうよ！」

そう、私はいつも無視をされる・・・

私の名前は、我那覇 杏 私は、瞳の見えないくらいメガネを掛けている。

ついたあだ名は「メガネ女」

入学してから、いつも一人・・・

今だって、話をするだけでみんな逃げていく・・・

こんな生活もう、無理。でも、お父さんが、「もう少しの辛抱だよ。」と、言ってくれた。

お父さんは、いつもやさしい。私の事を思ってくれる。

そんな事を思っている間に、先生が来た。

学校、友達（後書き）

がんばります！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9105i/>

俺の日常

2010年10月10日03時45分発行